

Ⅱ 学校の概要

Ⅰ 校歌

作詞 大塚 盈
作曲 松田 喜一

ふ る き きー ぎ えだ さすに わー べ き よ き みー
す おの ず と わ けー り は る かな る れ き
しを こ こー に あ お き くー も において ながるー ああば
ろー われら われら このまなびやに われら まなべり

平成30年4月 ピアノ伴奏曲 松山 太朗

三	二	一
この学舎に ああ芭露 ああ芭露 勤勞の想はあつし 豊かなる大地をここに 渡る風 畑の面にそよぎ あら草も まきばにかおる この学舎に われら励めり	大いなる 望みは生まる ああ芭露 われらわれら 若きわが 命をここに 登り立つ 潮見の丘ゆ 広き海 ま近にせまる この学舎に われらみかけり	古き木々 枝さす庭べ 清き水 おのずとわけり はるかなる 歴史をここに 青き雲 において流る ああ芭露 われらわれら この学舎に われら学べり

2 応援歌（旧湖陵中学校校歌一部変更）

湧別町立湖陵中学校校歌

昭和38年12月13日 制定

作詞 山田敏夫 氏
作曲 村井久昭 氏

♩.108 *mf*

あ あ さ く ほ く - の あ さ - ぼ ら - け え い

ち の ひ か り ち に - み ち - て

mp

し ん り の み ち を て ら す と き こ こ

に つ ど い し わ か - き ら は み ら

f *mp*

い に た け - き ま ゆ あ げ ん こ り よ

f

う わ れ ら こ り よ う ち ゅ う が く

四 三 二 一

あ あ 潮 北 の 朝 ぼ ら け
英 知 の 光 地 に 満 ち て
真 理 の 道 を 照 ら す と き
こ こ に 集 い し 若 き ら は
未 来 に 健 き 眉 あ げ ん
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園

あ あ 流 麗 の 芭 露 川
先 人 の 史 刻 み つ つ
サ ロ マ の 湖 と 展 く と き
腕 く み 交 わ す 若 き ら に
拓 世 の 固 き 誓 い あ り
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園

あ あ 潮 な り や オ ホ ー ツ ク の
風 氷 雪 を ま じ え つ つ
試 練 の 曲 を 奏 す と き
学 び て や ま ぬ 若 き ら の
ゆ る が ぬ 心 歌 う な り
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園

あ あ 昏 鐘 は 丘 に 鳴 り
牧 牛 す で に 草 食 ま ず
残 光 影 を 沈 む と き
文 化 を 担 う 若 き ら に
思 想 の 花 や 開 く べ し
芭 露 わ れ ら 芭 露 学 園

3 校章

◎ 校章のいわれ

豊かな酪農村を表すクローバーにサロマ湖の波を配し、地域の自然と、そこに営まれる生活を描き出し、中央に中学校を円に形どり、真理追求の知性をもって発展する意志をペンに託してある。

湖陵中学校のこの校章を元に、新たに義務教育学校になるにあたり、中の文字を「芭」に変更した。



◎ 湖陵中学校初代教頭 堂坂 美義 氏 案

◎ 昭和38年12月13日 制定
平成30年 4月 1日 改訂

4 認可学級数及び在籍生徒数 学級数 10(含特支4) 児童生徒数 42(含特支4)名

	前期課程						後期課程			合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	
男子	2	4 (2)	2	2	1	0	1 (2)	1	3	2 0
女子	2	3	3	2	6	4	1	1	0	2 2
合計	4	7 (2)	5	4	7	4	2 (2)	2	3	4 2

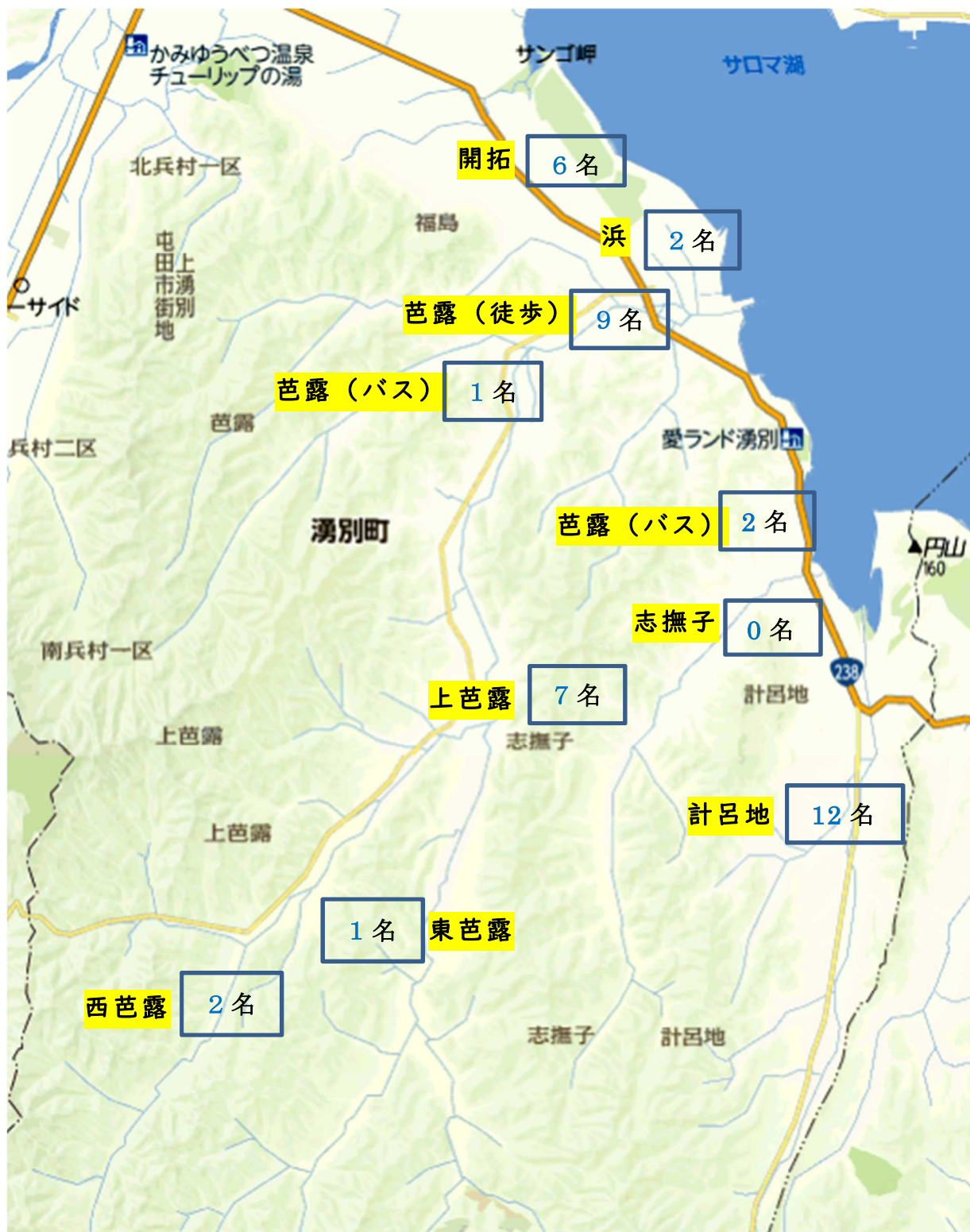
5 通学方法

	徒 歩 (自 転 車)	通 学 バ ス	合 計
前期課程	9	2 4	3 3
後期課程	0	9	9
合 計	9	3 3	4 2

6 保護者の職業

	酪 農	漁 業	そ の 他	合 計
前期課程	2 0	4	9	3 3
後期課程	8	0	1	9
合 計	2 8	4	1 0	4 2

生徒通学区区域図



7 校下・地域の概要

校下は、湧別市街地区から南方に約12キロメートル離れたサロマ湖（網走国定公園）沿いに面しており、風光明媚な環境にある。酪農経営と漁業経営が中心で、畑作経営も見られる。気候は、夏はオホーツク海の影響で涼しく、冬は比較的温暖で積雪が少ない。また、年間を通して風が強く雨量が少ない。しかし大雨の時には、床下浸水や床上浸水になる時もある。そのため、芭露川の拡幅改修工事を数年かけて行っている。

平成30年4月1日に芭露小学校と湖陵中学校が統合し、芭露学園となって生まれ変わった。校区は、芭露・上芭露・東芭露・西芭露・志撫子・計呂地の6地域からなり、戸数約382戸、人口965人（平成22年10月1日現在）、PTA戸数28戸である。

芭露地区は、明治28年に開拓が始まり平成7年8月に開基100年を迎えた。地理的に湧別市街地区から離れており、図書館・文化センターなどの公的文化施設を活用する機会が少ない。しかし、湖・河川・山林・緑の畑地などの自然と直接関わりをもつことができ、のびのびと生活している。

8 学校（児童生徒）の概要

昭和55年に小学校が統合し、新設芭露小学校として誕生した。昭和57年には、通算80周年記念協賛会式典を挙行了した。平成3年には、6地区全ての統合校となった。校舎は3回の水害に見舞われた。湖陵中学校は、昭和38年4月より統廃合が始まり、昭和44年までに上記6地区が全て統合され現在に至っている。平成25年11月には50周年を迎えた。その芭露小学校と湖陵中学校とが、平成30年4月1日、芭露学園として義務教育学校となって新設された。

保護者や地域住民の学校に対する関心は高く、協力的である。校地の環境整備や諸行事には、家族ぐるみで協力や参加が見られる。家庭においても、曾祖父母、祖父母などと一緒に生活する生徒が多く、穏やかな性格の生徒が多い。

バス（スクールバス1台・町営バス1台・ワゴン車1台 合計3台）による登下校の生徒が80%を超え、部活動が時間的に制約される。一部の部活動については、保護者対応で、バス運行時間後も行っている。

（1）児童生徒の特色

- ① 明るく素直であり、まじめである。特に学校行事に対して企画立案等主体的に参加し、創造的な行事づくりに取り組む。
- ② 学年の隔たりがなく、家族的な雰囲気である。
- ③ 学習態度など基本的な姿勢が身に付いている。
- ④ 問題行動はあまり見られないが、保育所からの人間関係が固定気味であり、望ましい学級集団や人間関係の指導を徹底している。
- ⑤ 運動に親しみ、楽しく生活している。
- ⑥ 動植物など自然に対する興味関心が高く、親しみを持っている。

（2）特色ある主な教育活動

- ① 9年間を見通した教育課程を実現する教科指導の充実
 - ア 専門性の高い教育活動を展開するための教科担任制の充実（後期課程所属職員による1～6年生への授業）
 - イ 全ての教科において免許外所有教科担任による指導を実現（免許保有に応じて前・後期課程所属に関わりなく指導、巡回指導教諭）
- ② 9年間を通して子どもたちに学び合いがあり「できた」「わかった」が実践できる授業改善
 - ア 1～6年と7～9年を担当する先生方が一緒に行う校内研修
 - イ 主体的に学び合う力を育む課題設定のある授業
 - ウ ICT機器を効果的に活用した授業

- ③ 9年間を見通した外国語活動・外国語科の充実
 ア 低学年（１・２年）に年間１５時間の外国語活動
 イ 免許状を有する教諭による専門性の高い指導やALTの効果的活用
- ④ 地域の人材を活用した教育の実践
 ア 酪農や畑作、漁業体験、工場見学や遺跡見学等
- ⑤ ピア・サポートプログラムの推進
 ア 心の成長と思いやりのある子どもを育てる
 イ ウェルビーイングの向上を目指す
- ⑥ 義務教育学校としての一体感ある活動の充実
 ア １～９年生の関わり合いを通して人間関係能力やコミュニケーション能力を育成する。
 イ 子どもたちが主体的に活躍できるように支援する。
 ウ 上級学年のリーダーシップの育成
- ⑦ 体力の向上
 ア 休み時間に設定した「のびのび運動」での持久力や縄跳び、鬼ごっこなど
 イ 学年や個人毎に目標を設定した合同体育の活動（７～９年生）
- ⑧ 「湖陵太鼓」等を活用した地域活動への参加
 ア 地域に唯一存在する学校として
- ⑨ 湧別高校との中高一貫教育の推進、キャリア教育の充実
 ア スケールメリットを生かした、多様な体験活動や講演等の実施
- ⑩ 特別支援教育の理解と推進
 ア 本校に所属する全ての子どもに対して、子ども一人一人の違いや良さを認め合いながら、一人一人に応じた適切な教育を実践する。

９ 児童生徒数推移

	７年度	８年度	９年度	10年度	11年度	12年度
１年生	４	６	６	３	６	６
２年生	７(２)	４	６	６	３	６
３年生	５	７(２)	４	６	６	３
４年生	４	５	７(２)	４	６	６
５年生	７	４	５	７(２)	４	６
６年生	４	７	４	５	７(２)	４
前期合計	３３	３６	３４	３３	３４	３１
７年生	２(２)	４	７	４	５	７(２)
８年生	２	２(２)	４	７	４	５
９年生	３	２	２(２)	４	７	４
後期合計	９	10	15	15	16	18
全児童生徒数	42	46	49	48	50	49